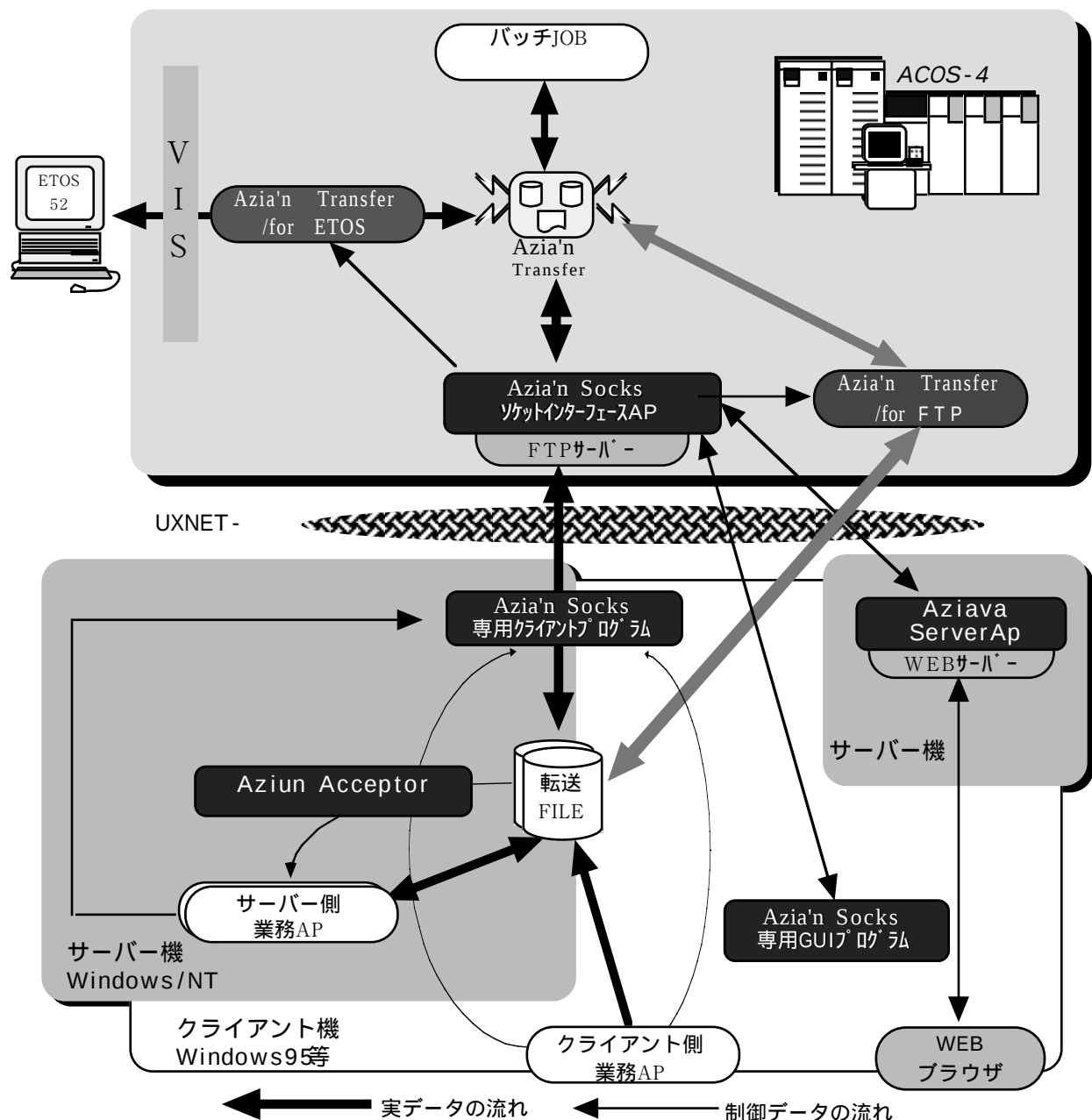


Azia'n Socks及びAziavaのご紹介

「Azia'n Socks」は、ACOS-4対応統合ファイル転送ソフト「Azia'n Transfer」の中の1コンポーネントであり、PC側の専用クライアントプログラムとACOS側常駐プログラム間でソケットインターフェースとFTPプロトコルを用いたファイル転送、転送状況の検索、「Azia'n Transfer」の他のコンポーネントに対する転送要求の発行等を実現いたします。

さらにオプションの「Aziava」を導入すれば、ホームページ上に配置したjavaアプレットから転送状況の検索や転送要求の発行をすることが可能になります。

1. システム構成図



2. 各種機能と特徴のご紹介

- a. 本システムが提供するPC側の専用クライアントプログラムが、
ホスト側常駐プログラムとソケットインターフェースにて連携をとりながらFTPサーバーと
の間でファイル転送を行います。
(現在のところ専用クライアントプログラムはWindows/NT,Windows95版のみのリリースとなり
ますので、他のシステムでの御利用を検討されている場合は別途御相談下さい。)
- b. 専用FTPクライアントプログラムは「.EXE」形式ですので、バッチファイル,ショートカット、
他のPC側業務APからShellコマンド,等を用いて容易に起動することが出来ます。指定により
親プログラムにて転送の結果(正常,異常)を取得することも可能です。

【参考】...EXE起動時の引数指定(下線部分が必須パラメータ)

ホストID,送受信区分,ファイルID,AKSCD=宛先加入者CD,HKSCD=発生源加入者ID ,DV=ドライブ名,DSNM=データセット名,FLNMN=ファイル名称,COMN=コメント,PMD=出力モード値 ,UPD=ファイル送信後処置値,RTRMID=処理実行端末ID,MSGKB=メッセージ表示区分,EVH=イベント通知バンド ID,EVM=イベントMSG
--

- ・送受信区分...送信:S 受信:R
 - ・上記引数の全てもしくは一部を「.AZF」という識別子のテキストファイルに書き込み、
そのファイルそのものを最初の引数にすることでプログラムに対してパラメータを引き
渡す事も出来ます。
- c. サーバー上に「Aziun Acceptor」と上記専用プログラムを配置すれば、各クライアントからサ
ーバ上に書き込んだファイルを順次ホストへ転送することも可能です。
(こうすれば、各クライアント上への専用プログラムのインストールは不要です。)
- d. 最大レコード長8192バイトの可変長転送が可能です。
又、FTPを利用しているので、高速なデータ転送が実現できます。
当然のことながら、ACOS側のVISが立ち上がっていなくても転送が可能です。
- e. 基本的にはASCIIテキストタイプのデータを扱いますが、バイナリデータ転送やEBCDICデー
タ転送も可能です。端末種毎の漢字コード変換(JIS↔シフトJIS,EUCコード)も可能です。
- f. ACOS側におけるファイル毎の未転送,転送済といった状態管理機能、ACOS側へ送信した後の
送信元ファイル削除機能、ACOS側から受信する際の受信ファイル名の動的変更機能等を、
組み合わせることによりホスト業務と端末側業務間のインターフェースにおけるデータの紛
失や2重転送といった事故を未然に防ぐことが可能です。

- g. 従来のAzia'n Transferが持つ各種機能(加入者別の端末管理機能,VISによる加入者別やファイル別転送状況検索機能,ユーザーバッチ処理業務とのインターフェース,区切り文字付テキストとの変換機能等)はそのまま利用可能です。
- h. 別プログラムとして提供するGUI画面プログラムを利用すれば、ETOSやホスト側VISに依存することなくGUI画面により転送状況を検索したり転送要求を発行することが可能です。
又、オプションの「Aziava」をWebサーバ上に導入すれば、クライアントPCのWebブラウザから、転送状況の検索や転送要求,印刷要求の発行が可能です。
この場合は、クライアント側へのGUI画面プログラムのインストールは不要です。
- i. PC側に「Eazy Manager/Acceptor」や「Aziun Acceptor(サーバー機のみ)」を用意すれば、転送終了後にPC側の処理を起動することが可能です。又、ファイル転送後に結果を通知する為のレコードを別ファイルに出力する機能があるので、それを利用してNTやUNIX上で動作する他社製の運用管理ツール(JP1やTremony等)との連携も可能です。

3. 画面イメージ

a. 送受信起動画面

以下のような画面で送受信時のパラメータを指定の上、送受信処理を起動出来ます。入力した内容はパラメータファイルとして保存可能ですので、以後はそのパラメータファイルのみを指定して送受信プログラムを直接起動することも出来ます。

b. 送受信実行中画面

クライアントPC上での送受信の最中は、処理の進行度合を示すメーターを表示可能です。勿論サーバー機でバッチ的に実行する場合等、表示させないことも可能です。

c. GUI画面例

ETOSにおける「受信/印刷対象ファイル検索&操作」画面と同等の機能(受信,印刷要求の発行、中断,削除,用紙確認指示等々)を提供いたします。

一覧画面からファイル明細を選択して、詳細ボタンを押すと上の詳細画面が表示されます。又、受信ボタンを押すと左の画面が表示され、受信指示を行なうことができます。処理実行端末欄を省略すると、自端末にて専用クライアントプログラムを起動します。処理実行端末欄にAzia'n Transfer/for FTPにおけるFTPサーバー端末等を指定すると、当該端末に対する受信指示が発行されます。

一覧画面から帳票ファイル明細を選択して、印刷ボタンを押すと左の画面が表示され、処理実行端末に対する印刷指示を行なうことができます。

d. Aziava画面

クライアントPCのWebブラウザ上から以下のアプレット画面にて、転送状況検索、送受信指示の発行が可能です。

尚、ホームページのアプレット以外の部分については、任意のデザインを適用することが可能です。

The screenshot displays the Aziava Ver.1.0 web application running in Microsoft Internet Explorer. The main interface shows a table of files with columns: ファイルID, ファイル名称, 加入者CD, 用紙, 件数, 作成日時, 出力先, P, 出力状態. A modal window titled 'ファイル明細情報' (File Detail Information) is open, showing details for file 'TONGS_CYIBSSJ5'. Another modal window titled 'FTPデータ受信' (FTP Data Reception) is open, showing settings for data reception. A third modal window titled '印刷詳細設定' (Print Detail Settings) is open, showing settings for printing.

ファイル明細情報 (File Detail Information)

データ/帳票区分:	☒ (X: ファイルID / W: 帳票ID)
ファイル明細コード:	TONGS_CYIBSSJ5
ファイルID:	HOD1MEINI
宛先加入者:	TONGS とんちゃん
発生源加入者:	AZSYSTEM Aziaホスト側業務一般
現在の状態:	入力 格納完了 出力 受信完了
ファイル属性情報	PFID=L0 REUSE=Y
印刷情報	
作成(格納/送信)時情報	
格納時間:	1999/06/08 08:23:23 から 1999/06/08 08:24:07
格納元情報:	X000047 HOD0010
出力(抽出/受信)時情報	
出力時間:	1999/06/08 08:36:30 から 1999/06/08 08:36:33
出力添付数:	1 から 3
出力先情報:	PCL035

FTPデータ受信 (FTP Data Reception)

処理実行端末: AZIUN
 ドライブ名: C (例) C:
 データセット名: #DATA#AZB_LSET.TXT
 出力モード: ☐ 上書き(O) ☐ 追加(A) ☒ 作成(C) ☐ 追加/出力(E) ☐ 未保存時出力(N)
 ファイル受信後処理: ☐ 何もしない ☒ 出力済みとする
 オプション:
 バイナリーデータファイルを送受信する場合は、オプションAにBINを指定してください
 実行 キャンセル

印刷詳細設定 (Print Detail Settings)

処理実行端末ID: PCL035
 印刷範囲: 開始頁: 1 から 終了頁: 3
 出力優先度: ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☒ 5
 実行 キャンセル

一覧画面からファイル明細を選択して、詳細ボタンを押すと上の詳細画面が表示されます。詳細画面は複数表示することが可能です。又、受信ボタンを押すと左の画面が表示され、受信指示を行なうことが出来ます。処理実行端末欄にAziava'n Transfer/for FTPにおけるFTPサーバー端末等を指定すると、当該端末に対する受信指示が発行されます。「Aziava」の場合はjavaの制約により、処理実行端末を省略して自端末で受信することは出来ません。尚、一覧画面を発生源別にとすると、送信ボタンを押すことにより送信指示を行なうことが可能です。

一覧画面から帳票ファイル明細を選択して、印刷ボタンを押すと左の画面が表示され、処理実行端末に対する印刷指示を行なうことが出来ます。

4. 使用条件等

OS	:	ホスト側	ACOS-4 「XVP」 3.1以上又は「XVP/PX」
		サーバ側(Aziava使用時)	WindowsNT 4.0又はTurboLinux Ver3.0以降
		クライアント側	Windows95,98 WindowsNT4.0
			ファイル転送モジュールはNT3.5以上で動作可能
PP等	:	VIS及びRIQS (V1又はV2),UXNET v2がインストールされている 事。 Aziava使用時はWindowsNTサーバにIIS4.0がインストールされていることが 必要です。又クライアント側WebブラウザとしてInternet Explorer4.0.1SP1 以上が必要です。	

Azia'n Transfer R2.0

製造元 (有)Soft And Soul

tel: (03)3370-7051

fax: (03)3320-0950

e-mail: azian@softandsoul.co.jp

Azia'n Transferは、株式会社Imagicaシステムズ 及び
有限会社ソフト・アンド・ソールの登録商標(申請中)です。
本書に記載された社名・商品名は各社の登録商標・商標です。